

令和 7 年 12 月 18 日
西日本高速道路株式会社

E1A 新名神高速道路 大津 JCT(仮称)～城陽 JCT・IC 間の 工事進捗状況について

NEXCO 西日本 関西支社(大阪府茨木市、支社長:諸富 正和)が事業を進めている E1A新名神高速道路
大津ジャンクション(JCT)(仮称)～城陽ジャンクション・インターチェンジ(JCT・IC)間については、令和6年12月
24日に連絡調整会議(第3回)を開催し、その結果についてお知らせしたところですが、その後の工事進捗状況
についてお知らせします。

■進捗状況資料(別紙)

(1) 工事の進捗状況（滋賀県域の概況）

別紙

■ 滋賀県域全線にわたって、土工工事、トンネル工事、橋梁工事を推進中

＜位置図＞



大戸川橋の整備状況



山間部(上田上地区)の整備状況



信楽川橋の整備状況



山間部(大石地区)の整備状況

(2025年11月撮影)

(2) 工事の進捗状況（京都府域の概況）

■ 京都府域全線にわたって、土工工事、トンネル工事、橋梁工事を推進中

＜位置図＞



宇治田原トンネルの整備状況（上下線貫通）



宇治田原インターチェンジ付近の整備状況



城陽市域土工部の整備状況



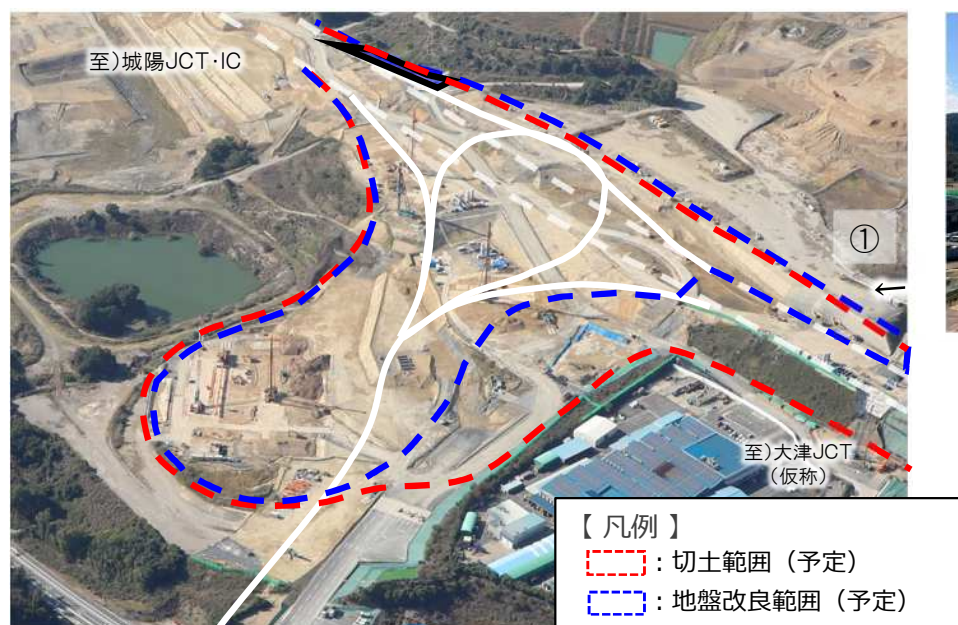
城陽高架橋の整備状況

（2025年11月撮影）

(3)新名神高速道路(大津JCT～城陽JCT)の課題と現在の状況

- 宇治田原IC部については、山砂利採取後の埋戻しが広範囲かつ軟弱な地盤であることから、有識者を含めた施工方法等の検討により、地盤改良と切土工事を繰り返し行いながら本線の構築を行っているところ
- 現時点も想定以上のコンクリート殻等の発現が続いており、今後の混入状況も不明であることから、引き続き工事の進捗の確認が必要

<位置図>

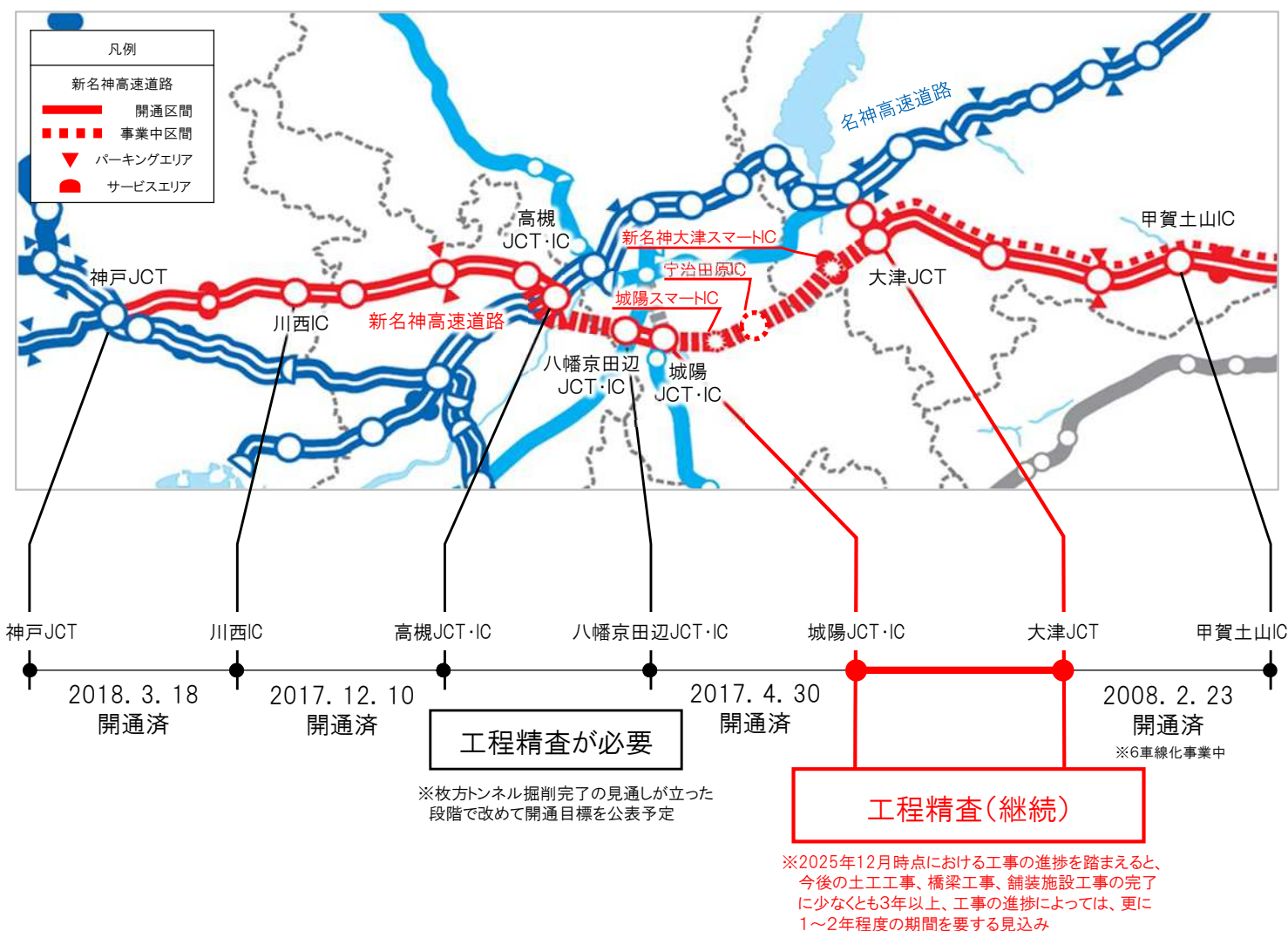


<コンクリート殻等の発現・分級状況>



(3)新名神高速道路(大津JCT～城陽JCT)の課題と現在の状況

- 2025年12月時点における工事の進捗を踏まえると、今後の土工工事、橋梁工事、舗装施設工事の完了に少なくとも3年以上、工事の進捗によっては、更に1～2年程度の期間を要する見込み
- 以上のことから、引き続き工程精査を継続しつつ、工事の安全を最優先に1日も早い開通を目指します



※本資料の事業中区間におけるJCT・IC及び構造物名称は仮称を含む